

● あ と が き ●

この社会科資料集は、平成14年度4月から使い始めます。この平成14年4月は、ちようど教科書が4年に一度替^かわる年、そして、日本の教育のあり方を10年に一度見直^{なお}し（指導要領改訂と呼んでいます）して新しくする年とも重なっています。

さて、前回の平成9年に第4次改訂した霊山町社会科資料集『りょうぜん』には、町の工場についてもたくさん紹介されていました。しかし、社会の景気の悪さやその他の事情^{じじょう}や原因^{げんいん}が重なって、紹介された工場の多くは、今は操業していません。また、道路なども大きく直されたり、町の施設^{しせつ}が新しく作られたりと、町全体を見ると新しくかわったことも多かったです。そこで、今回は部分的な手直しではなくて、資料集全体を見つめ直しました。

この資料集を作るために、霊山町の全部の小学校と中学校の先生方15名が、編集委員^{へんしゅういん}として資料を集め、どんな内容^{ないよう}にしたらよいか何回も話し合いました。そうしてできた原稿^{げんこう}をさらに何回も読み直しをして、みなさんの手元にある『りょうぜん』に仕上げさせたのです。

この資料集を使うことが、調べ学習や話し合^{ふか}いを深めるきっかけになったり、霊山町を少しでも理解^{りかい}する材料^{ざいりょう}になったりすればありがたいと考えています。ぜひ、それぞれの学校の学級が、そして霊山町の3・4年生一人一人が、この資料集を授業^{じゅぎょう}に自主学習^{じしゅ}に役立ててくれることを願っています。

最後になります。この資料集を作成^{きょうりよく}するために協力してくださった多くの団体やみなさんに感謝^{かんしゃ}申し上げ「あとがき」とします。

平成14年3月

霊山町社会科資料集編集委員長

石田小学校長 荒木 藤夫